

11月7日～13日

愛市憲章週間

問合先 豊橋市民愛市憲章推進協議会

(八町通二丁目 ☎ 56・1128)

「市民愛市憲章」を実践しましょう

愛市憲章の5項目は、平易な日常生活のあり方を掲げたものです。身近な生活の中からはじめましょう。

- 1 心をあわせ美しい町をつくりましょう
- 1 よく働き豊かな町をつくりましょう
- 1 愛情をもちあたたかい町をつくりましょう
- 1 きまりを守り明るい町をつくりましょう
- 1 教養をたかめ文化の町をつくりましょう

西友会(山本賢市長ほか50人)

新興住宅地・西小鷹野の40歳代を中心とした団体で、「これからの世代のため新しい町づくり」に向け町内美化などの活動をしています。

1 よく働き豊かな町をつくりましょう

安藤桂伍(65歳・賀茂町)

長年にわたり農業に従事し、食品の安全を訴え、自らも無農薬・無化学肥料栽培に取り組み、他を指導するなど、安全な農産物の生産向上に努めています。

1 愛情をもちあたたかい町をつくりましょう

太田静江(74歳・東光町)

長年、民生委員として活動し、特に老人世帯や弱者世帯に暖かい手をさしのべると共に豊橋市民生委員・児童委員協議会の要職を務め、あたたかい町づくりに努めています。

1 きまりを守り明るい町をつくりましょう

村田孝司(68歳・東田町)

長年にわたり自治会役員として地域の町づくりのために積極的に活動し、同時に保護司として明るく楽しい地域づくりに努めています。

1 教養をたかめ文化の町をつくりましょう

山本多恵子(41歳・西幸町)

枯れない生花と言われるブリザー

ブドフラワー制作の分野で活躍し、講師として技術指導や後進の育成に努め、新しい花文化の普及に努めています。また、浜名湖花博で金賞と優秀賞をダブル受賞するなど注目されています。

「ふるさと豊橋いちばん」認定者

(敬称略)

「豊橋にはこんなすばらしい人がいる」をテーマに特技や経験、バイタリティーを持つ方を募集したところ、次の方が認定されました。

・チェンソーアートで世界を舞台に活躍している人
太田貴之(30歳)

・伝統木工船の模型制作で国内有数の技術を伝承している人

中野春一(75歳)

・国勢調査委員に連続10回(45年間)従事した人

小田武康(85歳)

・ガラス工芸用の卓上吹きガラス灯を初めて製作した人

祢宮田治郎(72歳)

・柿の「西村早生」を豊橋で最初に栽培した人

鈴木義雄(81歳)

・草笛演奏や指導を通じて、「野原の文化普及」に努めている人

木下義親(61歳)

「市民の日」 一日長の皆さん(敬称略)

市民の方にそれぞれの長を体験していただき、行政などをより身近に感じていただく機会とします。

一日市長

平松厚佳(18歳・市立豊橋高等学校3年生)

一日市議会議長

種田佳洋(23歳・豊橋技術科学大学大学院修士1年生)

一日商工会議所会頭

長屋麻衣子(37歳・病院事務長)

一日警察署長

神野紀郎(67歳・豊橋警察署協議会会長)

一日駅長

牧野早希子(60歳・会社代表取締役)

一日郵便局長

鈴木草予(17歳・豊丘高等学校3年生)



一日市長を務める 平松厚佳さん

昭和38年に「豊橋市民愛市憲章」が制定され、それ以来11月11日を「市民の日」と定め、安心して住みよい町づくりのため、町内会、各種団体、学校など市民一体となった実践活動を進めています。社会情勢はまだまだ厳しい中ですが、このような時に心を合わせ「わが町豊橋」をすばらしい町にするよう、協力しましょう。

「愛市憲章賞」受賞者

(敬称略)

1 心をあわせ美しい町をつくりましょう

平尾好一(80歳・牛川町)

10年以上にわたり、小学校や神社周辺を毎日清掃するなど町内美化に努め、小学生や地元民の模範となっており、愛市憲章の精神を実践しています。